

おおがわら

議会だより



第152号

令和元年8月1日

QRコードから議会の情報を
ご覧ください

大河原町議会



7月5日
竹とんぼ飛ばし

関連記事 P20

常任委員会改選……………	②③
議案審議(6月会議)…………	④
町政への提言……………	⑤
【シリーズ】広聴……………	⑬

委員会 改選

新体制でスタート

活動の更なる 充実を目指して

6月議会において、委員会メンバーの改選が行われました。任期は今後2年間です。
なお、議長・副議長の改選は今回行われていません。また、議長はどの委員会にも属しません。

文教厚生 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐久間克明 |
| 副委員長 | 万波孝子 |
| 委員 | 大沼忠弘 |
| 〃 | 岡崎勝利 |
| 〃 | 丸山和也 |
| 〃 | 枡司充 |



副議長
山崎 剛



議長
佐藤 貴久

委員会の担当分野

- ▼議会運営委員会
議会運営、議会の規則、条例等。議長の諮問。
- ▼総務産業常任委員会
総務課、企画財政課、税務課、会計課、農政課、商工観光課、地域整備課、上下水道課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会。
- ▼文教厚生常任委員会
町民生活課、福祉課、健康推進課、子ども家庭課、教育委員会。
- ▼議会広報常任委員会
議会だよりの企画・編集・発行。その他情報発信、議会広報活動全般。
- ▼議会広報聴常任委員会
議会報告会に関する事項。その他町民との意見交換、情報交換。

議会広報 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐久間克明 |
| 副委員長 | 須藤 慎 |
| 委員 | 高橋 豊 |
| 〃 | 伊勢 敏 |
| 〃 | 大沼 忠弘 |
| 〃 | 万波 孝子 |



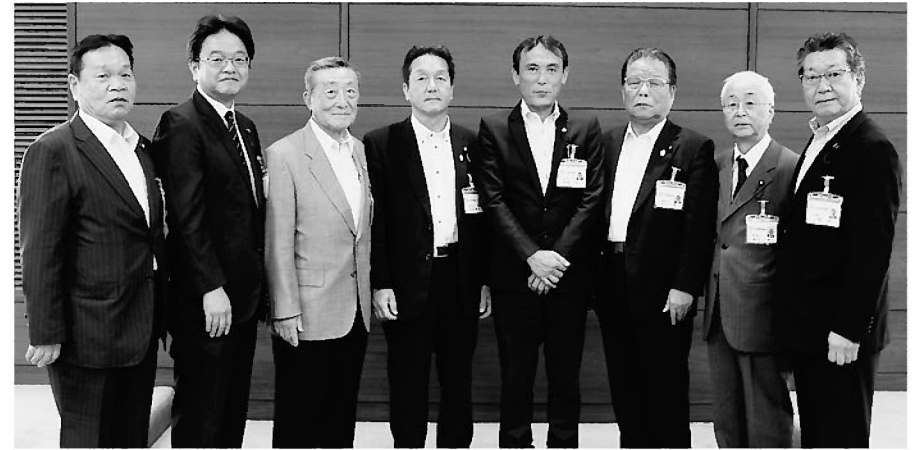
議会運営 委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 須藤 慎 |
| 副委員長 | 岡崎 隆 |
| 委員 | 高橋 豊 |
| 〃 | 佐久間克明 |
| 〃 | 大沼 忠弘 |
| 〃 | 丸山 勝利 |



議会広報聴 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岡崎 隆 |
| 副委員長 | 丸山 勝利 |
| 委員 | 高橋 芳男 |
| 〃 | 堀江 一男 |
| 〃 | 枡司 充 |
| 〃 | 秋山 昇 |
| 〃 | 山崎 剛 |



総務産業 常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 高橋 豊 |
| 副委員長 | 須藤 慎 |
| 委員 | 伊勢 敏 |
| 〃 | 高橋 芳男 |
| 〃 | 堀江 一男 |
| 〃 | 秋山 昇 |
| 〃 | 山崎 剛 |



高橋 芳男	P⑥
● 家族の介護負担軽減について	
● 幼児教育・保育と高等教育の無償化について	
● 高齢者のゴミ出しを支援	
万波 孝子	P⑦
● 「幼児教育・保育の無償化について」	
● 町の臨時・嘱託・非常勤職員について	
● 「甲状腺検査」の実施と本焼却への姿勢について	
丸山 勝利	P⑧
● 本町の教育行政について	
庄司 充	P⑨
● 危険ブロック塀と空き家対策	
大沼 忠弘	P⑩
● 大河原町史、続々編の編纂時期について	
● 東部屋内運動場・東部グラウンドについて	
● 社会貢献型自動販売機設置について	
岡崎 隆	P⑪
● 歴史と文化を大切にすまちづくりが図られているのか	
● 行政区改編へ着手するのか	
伊勢 敏	P⑫
● 肺がん罹患数増加への対策について	
● 環境政策の充実について	
● 新教育長の教育政策について	
須藤 慎	P⑬
● 歩きたくなるまちの景観(街路樹等)について	
● 歩行者等の安全対策について	
高橋 豊	P⑭
● 地域・産業活性化について	
● 自転車損害賠償保険について	
佐久間 克明	P⑮
● 高齢社会の安全対策について	
● まちづくりの考え方について	

※内容は、大河原町議会ホームページ内の「中継・録画映像」で視聴できます。
(<https://www.town.ogawara.miyagi.jp>)



一般質問とは、町長や教育長に対して事務の執行状況や将来に向けての考えなどを問い質すもの。今回10人の議員が行った。

町政への提言Q&A

一般質問

補正予算

議案15件 報告7件



6月
会議

大河原町土地
開発基金条例
を改正

土地開発基金上限額を3億円から1億5千万円に改正した。

川根工業団地の整備に必要な資金確保のため、基金を3億円に増額していたが、一連の

企業立地（株式会社宮城ニコンプレシジョン、株式会社コイワイ、アイリスオーヤマ株式会社）が進み、所期の

目的を達成したことから基金を減じたもの。減額した1億5千万円は、令和元年度一般会計補正予算（第2号）に繰り入れた。

プレミアム付
商品券を発行

消費税率の引き上げが低所得者・子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、

町内の消費を喚起・下支えするため、低所得者及び子育て世帯向けにプレミアム付商品券を次の通り発行する。補正予算（第3号）において予算措置した。

事業費総額

2300万円

（全額国庫補助）

対象者

（計約4600人）

①令和元年度の住民税

非課税のかた

②本年6月1日現在、

平成28年4月2日以

降に生まれた子が属

する世帯主

③本年7月31日時点で

本年6月2日から7

月31日までに生まれ

た子が属する世帯主、

及び、本年9月30日

時点で本年8月1日

から9月30日までに

生まれた子が属する

世帯主

商品券（ワンセット）

購入額 2万円

使用可能額

2万5千円

購入限度セット数

①の対象者：1

②及び③の対象者

：子の数

期間

10月1日から。

現在、発行に向け

た準備作業中。

その他の議案

■工事請負契約（学校の空調設備設置工事）

の契約、二件

■大河原町都市計画事

業基金条例の制定

■大河原町森林環境議

与税基金条例の制定

■大河原町職員の公益

的法人等への派遣等

に関する条例の制定

■大河原町地域経済率

引事業を促進すべき

区域における固定資

産税の課税免除に関

する条例の一部改正

■大河原町介護保険条

例の一部改正

■災害弔慰金の支給等

に関する条例の一部

改正

■大河原町心身障害者

医療費の助成に關す

る条例の一部改正

■大河原町母子・父子

家庭医療費の助成に

關する条例の一部改

正

■大河原町学校給食セ

ンター条例の一部改

正

■令和元年度大河原町

介護保険特別会計補

正予算

その他の主な補正予算

歳入

子ども・子育て支援事

業費補助金

1752万円

歳出

公共施設等整備基金積立

1億円

幼児教育・保育無償化

実施事業費

1757万円



建設中のアイリスオーヤマ株式会社



株式会社宮城ニコンプレシジョン



株式会社コイワイ

一般質問

介護

家族の負担軽減を

県の動向に注視



高橋 芳男

高橋 埼玉県富士見市では「レスパイトケア」促進のため、訪問介護の費用の一部を負担している。年間12回までは費用の9割を市が負担し本人は1割負担、生活保護世帯や市民税非課税世帯は無料で利用できる。この制度の採用を検討しているのか。

町長 「レスパイトケア」の対象となりそうな障がい児・者

や介護をしている家族等のニーズを把握するとともに、医療機関やサービス事業所の意見聴取などの情報収集に努める。

また、県の助成に対する体制整備の動向にも注視する。

※レスパイトケア
介護をしている家族などが、一時的に介護から解放され、休息を取れるようにする支援のこと。

幼児教育・保育と高等教育無償化の周知

高橋 幼児教育・保育と高等教育を無償化する「改正子ども・子育て支援法」と、高等教育を無償化する「改正大学等就学支援法」が10月の参院本会議で可決された。幼児教育・保育と高等教育の無償化について、期間や条件の浸透を促すため、

積極的な告知に努めていくべきと思うがどうか。

町長 幼児教育の無償化の方法は、対象の施設が多様化しており、また児童の年齢や住民税の課税・非課税世帯による違いなど、様々な対応が必要となる。

大学など高等教育の無償化については、関係機関から要請があれば周知に努めたい。

高齢者の「ゴミ出し」を支援

わが町でも、これらの取り組みを進めるべき。

高橋 神奈川県横浜市では、市の収集員が玄関先に出向いてゴミを直接取りに行く「ふれあい収集」事業を実施している。ふれあい収集は、自分でゴミを収集所まで持っていくけない高齢者や障がい者等が利用しており、人命救助につながった例もある。

町長 地域包括ケアシステム事業の環境として、生活支援体制整備事業を大河原町社会福祉協議会に業務委託し、サービスやボランティアの提供を協議している。今後も連携を密にし、事業の推進を図りたい。



家族の負担が軽くなりますように

無償化は増税に頼るな

税依存はやむを得ない



すべての子どもを対象に

万波 無償化の財源は消費税率2%増税で賄うとしているが、世論調査では、増税に60%が反対している。軍事費削減等をすれば、

増税に頼らずにできる施策だと思わないか。

町長 増税分の一部をやむを得ないものと考える。

万波 無償化といっても、全てが無料になるわけではない。3歳～5歳児全員が対象だが、給食費は実費負担、0歳～2歳児は住民税非課税世帯が対象で、課税世帯は対象外。課税世帯への町独自の支援策が必要ではないか。

町長 約200名が対象外。支援策は困難。

万波 今後、入所希望者の増加が予測されるが、対応は。

町長 入所申請者も増え、また保育士の退職等により、残念ながら待機児童の解消

には至っていない。

臨時・非常勤を正職員に

万波 臨時等の職員数と勤務状況は。

町長 119名。原則として臨時は1年、非常勤は3年まで。ただし、職員の確保が困難な場合は、これを超える任用を行っている。

万波 国は会計年度任用職員制度を創設。手当支給等の規定も創設した。119名全員が対象か。

町長 基本的に全員が対象で、期末手当等の支給を検討する。

万波 正職員と同じ業務を担う臨時職員は、正職員にするべき。

町長 職務の内容を十分に精査し、必要に応じて検討する。

甲状腺検査を実施せよ 汚染廃焼却を中止せよ

万波 丸森町は3巡目の検査で4人目のがんを公表した。本町では過去3回にわたって、民間団体が無料で実施。309人が受診し、異状はなかった。町民の不安解消のために、町独自の検査を望むが。

町長 がんの発症が放射線の影響とは判断されていないので、今後も実施の考えはない。

万波 放射能飛散防止には焼却ではなく隔離保管へ。仙南広域は情報開示を。

町長 焼却は迅速で安定的であると判断したものの。広域には情報開示の要望があったことを伝える。

幼児教育・保育無償化



万波 孝子

一般質問

教育

いじめの起きない環境を

児童生徒の声に耳を傾ける



丸山 勝利

丸山 新しく鈴木洋教
育長が就任され、
今後の教育行政のかじ
取りが大いに期待され
る。新教育長の教育方
針とは。

教育長 「志を高め 学
び継ぐ ひとつ
くり」が基本理念であ
る。子どもの教育は学
校のみではなく、家庭・
地域と連携して行うも
のであり、確かな学力、
豊かな心、健やかな体
の知徳体バランスが取

れ、社会を力強く生き
ていけるひとつくりを
目指す。

丸山 いじめの認知件
数と対策は。

教育長 平成28年度21件、
平成29年度22件、
平成30年度67件となっ
ている。認知件数が増
加しているのは、教師
が児童生徒をよく注視
し、小さないじめも積
極的に認知しようとの
意識の表れと捉えてい
る。

丸山 いじめを認知し
解決するのも大
事だが、いじめの起き
ない、起こさない環境
づくりが大事ではない
か。

教育長 月1回のいじめ
アンケートを実
施し、早期認知に努め
ている。いじめはどの
学校でも、どの学級で
も起こり得ると考え
て、日頃から児童生徒
の声に耳を傾け、不安
や悩み等を聞き、温か

く共感的理解のある学
級をつくることが重要。

丸山 大河原町の小中
学校の学習成績
が県内・全国でもトツ
プクラスだが、今後も
継続するための対策
と、中一ギャップや学
校間の連携に対する対
策は。

教育長 学力向上につな
がるP*DC Aサ
イクルの確立が必要で
ある。中一ギャップ等
の解消に向けては、小

中学校の教員が対応策
について話し合う機会
を持っている。

丸山 児童生徒の安全
安心のため、通
学路の整備が重要だ
が、危険箇所改善は
進んでいるか。

教育長 「大河原町通学
路等安全対策推
進会議」において、危
険箇所の把握と改善に
努める。

丸山 安全な通学には、
見守り隊の方々
による「人の目」が欠
かせないが、対応はど
うか。

教育長 ウォーキングや
犬の散歩を行い
ながら見守り活動をし
る「ながら見守り隊」
など、関係団体と連携
し効果の高い見守り活
動を行いたい。

※PDCAサイクル
Plan(計画)、Do(実
行)、Check(評価)、Ac
tion(改善)を繰り返
し、業務を継続的に改善
する手法のこと。

教育長 大河原町教育委員会

学力向上にひと役

おおがわらの暗唱読本

寿限無

大河原町教育委員会

改善の考えは

所有者に理解を求める



過去の教訓を生かせ

宮城県沖地震から41
年、東日本大震災から
8年。県内外での復興
復旧は着実に進んでい
る。その一方、201

6年に熊本県で発生し
たM7・3、震度7の
直下型地震は記憶に新
しい。
これら災害の被害状

況の中で一番目を引い
たのは、ブロック塀の
倒壊である。新聞報道
では「31市町小学校周
辺のブロック塀撤去
改善必要1700カ所」
とあり、登米市の21
6カ所に次いで大河原
町が154カ所で2番
目に多い。子どもたち
や住民の安全確保の立
場から、空き家問題と
絡めて質問する。

庄司 報道のような事
実はあるか。

町長 今回、県が各小
学校を中心に半
径500m圏内の通学
路沿いにあるブロッ
ク塀を対象に危険度の判
定を行った結果、除却

が必要なるブロック塀は
13カ所、改修が必要なる
ブロック塀は154カ
所ある。

庄司 小中学校及び児
童施設等、道路
に面した場所での危険箇
所を調査したか。

町長 本町で各小中学
校及び児童施設
等を点検したが危険な
箇所は見られなかった。

庄司 空き家老朽化に
よるブロック塀
の危険箇所は見られる
か。

町長 町の空き家デー
タベースに登録
されている177カ所
のうち、小学校を中心
とした半径500m圏
内の通学路沿いで、ブ
ロック塀のある空き家
は15カ所、除却が必要
とされたものは3カ所
あった。空き家の所有
者や管理者には、改善
指導やブロック塀除去
助成制度を案内してい

る。
庄司 新聞調査報道に
よる事実を、町
長はどのように受け止
めているか。改善の考
えは。

町長 今回の調査結果
を受け、危険ブ
ロック塀に対する住民
の関心は高く、町の除
却助成制度の問い合わせ
も増えている。ブロッ
ク塀の所有者に対し
ては、県の職員ととも
に戸別訪問を行い、改
修や除却に必要な箇所
を改善するよう、理解
を求めていく。また、
学校や保育所等とも情
報共有し、歩行者への
被害防止と安全対策に
取り組む。

危険
ブロッ
ク塀



庄司 充

一般質問

大河原町史

へんさん 続編、 編纂時期は



大沼 忠弘

四半世紀ごとに発行

大沼 改元を機に、発行済み以降の記録を発行しては。

教育長 情報量と内容を考慮し、四半世紀ごとに発行することで、深みのある町史ができるものと考えている。(前回平成16年編纂、発行17年)

大沼 編纂委員の構成は。

教育長 前回発行時は元教員が中心。今後は加えて、学識経験

者を選出。

大沼 行財政に精通した役場OBも加えてはどうか。

生涯学習課長 検討したい。

大沼 デジタル化保存は。

教育長 必要と認識。検討したい。

東部運動場

大沼 現在、町体育施設の管理運営は指定管理者制だが、東

部運動場だけ生涯学習課管轄になっている。NPOで一括管理にできないか。

町長 契約更新時に考えていく。

大沼 広さが一般の野球・サッカーの規格に達していない。拡張の考えは。

町長 拡張は難しい。現状で練習等での活用を考えている。

大沼 冬場の屋内運動場は非常に冷え

る。ジェットヒーターを配備できないか。

町長 現在は、運動場の広さを考慮してブルーヒーターを2台配備している。今後これを活用したい。

大沼 太陽光パネルを整備しようとした場合、該当しそうな補助はあるか。

町長 現在は無いものと認識。

柔軟に対応する

歴史・文化の視点を

まちづくり



国指定有形文化財になった「佐藤屋邸」

人々が日々育んできた歴史・文化資産は、暮らしの繋がりや土地の記憶を受け継ぐものであり、故郷への愛着

を強め、地域コミュニティ再生の拠り所となることが望ましい。大河原町は「佐藤屋邸」「小山田やすとこ」



岡崎 隆

「堤神楽」「歴史民俗資料館」など、町として継承すべきものに対する取り組みが、いまひとつである。

岡崎 歴史民俗収蔵室の活用状況は。充実へ向けた取り組みは検討されたか。

町長 4月の花見時期の土日に年間十数名と、小学3年生の社会科の授業や一般市民の見学等で活用されている。

今後は佐藤屋プロジェクト企画展などでの公開を検討する。

岡崎 「佐藤屋プロジェクト」は営利先行ではなく、純粋に

社会貢献型自販機

飲料一本につき10円が、様々な社会貢献プロジェクトに寄与されるといった自販機がある。公共施設の自販機は、こうした貢献型が理想的ではないか。

大沼 町公共施設に設置してある自販機の台数は。その売上から入る収入額は。

町長 11台の設置で、町に入る行政財産使用料は平成30年度分で44万4791円。

大沼 AED内蔵型や、屋外設置が前提だが防犯カメラ機能が付与されたタイプもある。予算をかけずとも、こうした付随機能を有効活用することで、わずかだが経費削減、安全・安心の拡大にもつながるのでは。

町長 社会貢献型は様々なあり、安全・安心なまちづくりに役立つものと認識している。こういった機能のものが相応しいかなどを検討しながら、導入を進めたい。



後世へ伝えよう

文化資産を活かす活動を継続している団体である。平成29年3月議会でのこの団体から、当時佐藤蔵議員が紹介議員となつて、学芸員配置を求める請願が提出・可決されているが、現状は。経過説明もないのは不誠実では。

町長 佐藤屋プロジェクトには積極的に協力していく。しかし、専門職として学芸員の資格を有する職員の配置は予算が相当かかる。今後も担当課職員の対応を強化し、文化財保護委員と連携を図る。

行政区改編の 着手はまだか

岡崎 令和になつても、自然災害は減る傾向にない。町として行政区改編に主体的な姿勢が見えない。災害時に区民の自助共助に

町長 行政主導で再編を進める考えはない。具体的に検討に入る行政区があれば支援する。

地域の意向も大切にしながら、区長会とも連携し関連情報の発信に努める。

一般質問

原発事故後
肺がん増加

肺の内部被ばく検査を

因果関係不明、実施しない



伊勢 敏

全国と宮城県の比較ができる平成23年及び26年の肺がん罹患数は下記（最下段）の表のように、原発事故後3年後の宮城県の肺がん罹患数の増加率は全国が増加率を大幅に上回った。

事故発生地点に近いほど、大気中の原発事故由来セシウム濃度が高く、セシウムを肺内部に吸着、いわゆる内部被ばくした人数が多いことは想像がつく。

伊勢 セシウムの肺への吸着を発見し、肺がん予防に資するホルボディカウンターを受ける町民に対して、費用の全部あるいは一部を町が負担せよ。

町長 肺がん発症の原因が放射能であるとの科学的・医学的な立証がなされていないので、検査の実施も費用負担も行わない。

伊勢 放射能汚染農業系廃棄物総量7200トンの本格焼却は、仙南の大気の放射能汚染をさらに拡大させる。一刻も早い焼却中止を求める。

町長 試験焼却の結果から安全と判断

し、中止しない。

環境・エネルギー政策の充実を

伊勢 町外に流出するエネルギー支出の抑制・地域内への還流は地方創生に重要。エネルギー支出を抑制し新たな価値を創造する環境・エネルギー関連の新たな政策枠組みを模索せよ。また、次世代型住宅補助制度に国のZEH（ゼロ・

町長 エネルギー・ハウスの補助への上乗せを追加せよ。様々の提言は参考にする。

新教育長に問う

伊勢 教育のブランド化に関する、わかりやすいビジョンを策定してはどうか。今後検討する。

教育長 思考の道具である言語（国語）教育も、英語教育やICT（情報通信技術を活用した）教育も重要。どのように教育政策を推進するのか。

伊勢 国語教育をかなめとし英語教育・ICT教育にも鋭意取り組む。

教育長 現行方針の深化・発展を目指す。

伊勢 大河原版バカロリア制度を創設してはどうか。

教育長 現行方針の深化・発展を目指す。

肺がん罹患数と増加率		平成23年	平成26年	増加率
全 国	国立がん研究センター「がん登録・統計」	111,858人	114,550人	2.4%
宮城県	宮城県がん情報「宮城県がん登録事業」	1,856人	2,156人	16.2%
	宮城県立がんセンター「院内がん登録室」調べ	227人	314人	38.3%

全国統計の公表は26年分まで。宮城県は28年分まで、しかし、同一の統計方式は23、26、27年だけなので、23年と26年で比較。

伊勢 ゲーム・スマホ9時ルールの「進化形」を策定せよ。今後検討する。

教育長

※バカロリアは、高校卒業に能力判定試験合格が必要なフランスの制度。国際バカロリア機構は「知体徳の試験合格者」に証書授与。

景観

花木を街路に

計画的に進めていく



目線の高さに花木を

須藤 中部幹線（役場西側の通り）に約200本、駅前大通り線（商工会前の通り）に約80本の「唐楓（ト

ウカエデ）」が植栽されている。今後、剪定等維持が大変になってくることを考えると、「ハナミズキ」等の花

を植栽すべき。

町長 今回の剪定料は約100万円。隔年実施。植栽されてから約35年が経過しており、強風などで折れる心配もあることから、今後様子をみて、更新も必要になると考えている。地域の方々のご意見もいただきながら、花の咲く樹種についても検討していく。

須藤 小島中央線（フオルテ前）には以前「ナナカマド」が植栽されていたようであるが、現在は数本だけが残っている状況にある。新たに高木の花を植栽すべき。

町長 現在策定中の「都市計画マスタープラン」の中でも、街路樹等に配慮する内容としていることから、計画的に道路景観づくりを進めていく。

町長 新たな樹種について、花の咲くものも含め検討し、計画的に実施していきたい。

須藤 西幹線（広域農道）には多くの「ハナミズキ」が植栽されている。現在、風等の影響で疎らになっているが今後の対応は。

町長 強い西風や植樹帯の土質の関係で生育が厳しい環境にある。今後、土質の改良も含め、この場所にあった樹種について再度検討していく。

須藤 町全体を花の咲き誇る景観にするべき。

町長 現在策定中の「都市計画マスタープラン」の中でも、街路樹等に配慮する内容としていることから、計画的に道路景観づくりを進めていく。

須藤 県道大河原停車場線（駅前通り）や尾形橋、栄町商店街通りにある大型プランターが老朽化している。町の予算で新しくすべき。

町長 商工会と協議しながら、より良い景観づくりを進める。

歩行者の安全対策を

須藤 幼稚園、保育所（園）の散歩コースを把握し、必要な安全対策を講じるべき。

町長 全ての散歩コースまでは把握していない。

須藤 小・中学生の通学路で、危険性の高い交差点等の安全対策を講じるべき。

町長 危険箇所点検実施方針などが決定され次第、その方針に従い対策を講じたい。

一般質問

地域産業

活性化で稼げる地域を

経済対策として必要



高橋 豊

2012年12月に発足した第2次安倍政権は「アベノミクス」と呼ばれる一連の経済政策を展開し、デフレ脱却、景気回復に一定の効果を上げ、中央資本の企業の内部留保は右肩上がりに積み上げられていくと報道されている。

一方で、本町の経済状況は良いとは実感できていないのが現状である。

昨年と今年に、昭和と平成時代にかけて本町の経済界をけん引してきた地元企業の倒産が相次いでいる。10月には消費税率10%に増税される予定や、少子高齢化による働き手・後継者不足等、企業を取り巻く環境は厳しくなっていくと推察する。

本町においても、少子高齢化による人口減少や社会保障費が増えることで、行政経営環

境が厳しくなると予想されている。これらの現状を踏まえて質問する。

昨年設置された「にぎわいプラザ」の活用の中で、起業・創業支援についての活用状況と今後の活用について、本町の考えは。

高橋

町民所得を上げるために稼ぐ地域を目指していく必要があり、企業誘致や新たな産業の開発支援、企業・創業支援やイノベーション支援等、地域産業活性化を積極的に推進していく必要がある。本町の考えは。

町長

「商いルーム」を整備後、特定創業セミナーを5回開催。本年2月に起業・

国・県等の地域産業活性化の支援制度の周知や案内などについて強化し、稼ぐ地域づくりにつなげていく。

町長 国・県等の地域産業活性化の支援制度の周知や案内などについて強化し、稼ぐ地域づくりにつなげていく。

高橋

自転車の利用者が加害者になった事故の損害賠償請求訴訟で、高額な賠償判

決が全国で相次いでいることから、国土交通省は自転車保険の加入拡大策を検討している。県内では仙台市が今年度より加入義務化となった。本町の対応は。

町長

対応を検討する。



起業・創業支援で稼げる地域を

高齡化社会の安全対策を

町長

デマンド型乗合タクシーを運行しているが、今後高齢者が車を所有しなくても快適に生活できる「足」をどのように確保するのか。

町長

車を運転しなくても社会との関わりを積極的に持っていたり、自動車の運転免許自主返納支援事業を実施。また「生活支援体制整備事業」のなかで、多様なサービス提供について話し合われている。「足」の確保に留まらず、高齢者の社会参加や暮らしやすさの向上につながるサービス提供を支援していく。

町長 国交省は国土対策として「関係人口から考える小さな拠点づくり」に取り組んでいる。千葉県流山市のブランドマーク「都市から一番近い森のまち」を参考に、本町も大高山遊歩道など気軽に散策できる本町の山を活かしてはどうか。

町長

町の様々な資源を磨き、信頼・誇り、情報発信に結び付け、総合的な町のブランド化により「選ばれるまち」を目指す。また、遊歩道などは気軽に集える場所として、一目千本桜や白石川との一体的な展開など、新たな交流拠点創出の可能性を探る。

マーケティングの視点を

ブランド化図るうえで重要



「皆さまのために」は誰のためにもならない

本町は急激な人口減少が見られず、また喫緊の課題であるハード事業にも区切りが見え、今後の施設の複合

化やメンテナンスを検討する今だからこそ、まちづくりについて意識改革が必要と考える。



佐久間克明

行政区長の声を聴く

町の未来を考える

国と地方が対等であるとした地方分権改革が進み、地方自治体の首長・議会は、住民の意見を十分に聞き、政策に反映させることが求められている。

議会では基本条例の定めにより、毎年各地区に出向き住民との意見交換会を実施し、それらの意見を踏まえて、町長に対して政策提言を行っている。

今回は「シリーズ広聴」第1弾として、7月10日開催「行政区長との意見交換会」に出席された16名の区長の皆様に登場していただいた。会場では、次のような意見が出された。

人 本町1区は、毎年30人以上いた児童が、今年度は18名しかいないため、今年の「小学生夏休みスポーツ大会」への参加を見送ることにした。話を聞くと、そもそも親子会に入りたくないという家庭が非常に増えている。親子会が無くなった地区もあると聞く。今後、行政区のあり方が大きく変わるのではないか。地区のコミュニティが希薄にならないか。

投票立会人 「投票立会人」の高齢化が目立ち、12時間の拘束は大変だ。新聞報道があったが、他県では投票立会人に選挙権を持つ高校生を募集するところもある。現在、18歳から選挙権が与えられており、若年層の選挙への関心を高めることにも繋がると思う。

投票所 投票所の見直しが必要だと思う。投票所に来る高齢者が多いことは事実なので、そういった事情も考慮してもらえたら。

投票所 先日、町長選挙と町議会選挙を同日に行う動きが、大河原で起きているとの新聞報道があった。桜まつりと選挙時期をずらし、さらに経費削減にもつながると掲載されていたが。

町内 町内にアパートが続々建設され、入居者がどのような方なのか全然分からない。

防災マップ 「防災マップ」の説明会があったが、工事作業中の鷺沼排水路について、予算の都合もあるだろうが、なるべく早く使用できるようにしてほしい。

投票所 投票所に来る高齢者が多いことは事実なので、そういった事情も考慮してもらえたら。

町道整備 町道整備について、町内には、危ないと感じる場所がいくつかある（法務局からAコープまでの通

区会費を集めるために、大家やアパートの管理会社と交渉してやつと話をまとめた。入居者は、日中は仕事のために家を空けているので、班長や役員を任せることも難しい。

土大谷地区 主要地方道・白石柴田線が走っている。道路の幅員が法律基準を満たしていない部分があるが、今回の拡幅工事で県とのコラボ事業は終了する。区民のフラストレーションが非常に高まっている。

り、玉山食堂の交差点等）。



委員会活動

総務産業常任委員会

調査日 5月17日

地域防災について
(山元町「山下地域交流センター」現地調査)
▼花釜地区の取り組み
世帯数 約450世帯
(震災前 約1200世帯)

①自主防災組織
津波で資料等も失われた。防災体制を再構築したい。

②高齢者や要配慮者の津波避難に対する事前取り組みの推進。
課題に対する取り組み
●災害時の避難や、平常時の見守りのため「お隣さんとの仲間づくり」を推進。



●町総合防災訓練において、2カ所の避難場所に区役員や関係者を配置して、組織的な訓練を行う。

▼防災拠点・山下地域交流センターの取り組み
●災害時には、福祉避難所を兼ねる「高機能防災拠点」として機能し、平常時には「地域の交流・活力を創造するための交流拠点」としての役割を担う施設。

〔防災情報コーナー〕
震災時の状況を映像、模型、パネル等で伝承。
〔文化研修ホール〕
演劇、試写会、演奏会のほか、講習会等も実施。図書コーナー、リハーサル室、音楽練習室、調理室、会議室等も。

文教厚生常任委員会

調査日 5月21日
施設型給付事業について
(保育園モンテッソーリこどもの家ぼこぼこ現地調査)
●平成31年度4月開園。
●認可保育所（経営主体は株式会社）。

●定員60名。
●保育室は0歳児室、1歳〜2歳児室、3歳〜5歳児室の3部屋。全ての部屋がガラス張り、室内を見通せる。
●本町における施設型保育施設は「こどもの家ぼこぼこ」



議会広報常任委員会

全国町村議会
広報クリニック
日時 7月11日
会場 全国町村議員会館（東京都）
講師 長岡光弘氏（グラフィックデザイナー）



参加会場では26町村が聴講。
住民目線で分かりやすい文章になっているか等、クリニックを受ける町村の議会だよりを細部にわたりチェックし、指導を受けた。

第153号（11月1日発行）より、「町民の声」コーナーを開始します。

広報委員会が実際に皆様のもとへ伺い、取材を行います。町民の皆様が日々感じている様々なことを聴き、掲載することで、より大河原町への愛着を深めていただくことを目的とします。

町外や他行政区から嫁いでこられた奥様のいるお宅にお邪魔し、本町の「子育て」や「地域医療」について感じていることを、行政区ごとに順番に取材させていただきます。

ご協力のほど、よろしく申し上げます。

151号掲載の内容に一部誤りがありましたので、訂正いたします。
●7ページ 総括質疑（伊勢 敏議員）
町長答弁（平成30年度決算見込みについて）
誤…4〜5億円の赤字の見込み
正…4〜5億円の赤字の見込み

追跡レポート

その後どうなったあの提言

議員が行う提言は、町政にどのように反映されているのでしょうか。これまでの質問の中から、その後の経過について調査・追跡しました。

旧検察庁跡地の活用は



提言

平成29年に国と財産交換で取得した、旧検察庁跡地の活用予定が決まらない。中央公民館保管の昆虫標本を移動したが、そのほかの活用方法を考えてみてはどうか。

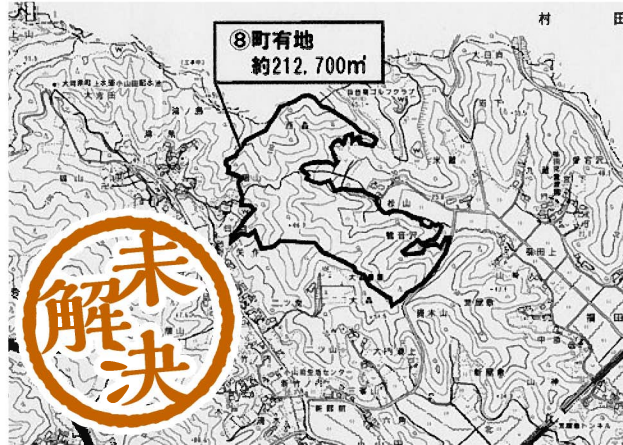
議員の提言
(一般質問)
平成29年12月

令和元年
6月現在

追跡結果

1階に「シルバー人材センター」が役場敷地内から移動したことに合わせ、建物名を「大河原町はたらく館」とした。敷地は盛土・整備され、駐車場も確保した。

町有地の農地活用を



提言

福田地区にある町有地を県に主導してもらうことで、農地活用できないか。

議員の提言
(一般質問)
平成30年12月
平成31年 3月

令和元年
6月現在

追跡結果

町有地の利用に関する提言は、以前から多数提言されてきた。今回もインフラ整備などの課題はあるとする一方、土地活用が考えられる機関へ広く状況提供を行うとされた。

全員協議会

◆大河原町都市計画マスタープラン

(地域整備課)

大河原町都市計画マスタープランの策定について説明を受けた。

概要

都市計画マスタープランとは、市町村が、その創意工夫のもとに住民の意見を反映し、まちづくりの具体性ある将来ビジョンを確立し、地区別のあるべき「まち」の姿を定めるもの。

対象区域 町全域
計画年次 (予定) 2019年8月5日
2039年3月

今後のスケジュール
6月↓パブリックコ

メント、住民説明会
8月↓公告予定

◆大河原町立小・中学校空調設備設置事業 (教育総務課)

次の表の通り説明を受けた。

学校名	落札金額	工事期間	落札業者
金ヶ瀬中学校	3,053万円	令和元年5月11日 ～令和元年10月30日	(株)さくら設備
大河原小学校 金ヶ瀬小学校	1億2,100万円	6月会議議決日の翌日 ～令和元年12月26日	(株)新日電業商会
大河原中学校 大河原南小学校	1億1,720万円		(株)エコー設備工業

◆桜保育所整備事業に係る大規模事業評価委員会からの答申 (子ども家庭課)

大規模事業評価を行った結果、事業内容について適正であると認められた。

◆議会解散に関する調査特別委員会(仮称)の設置について (議会運営委員会)

(6月6日)

議会運営委員長より、本会議において「議会解散に関する調査特別委員会設置」の委員会発議を行う旨の説明があった。今回は提案側の説明不十分とのことで、今後も協議を継続。(6月14日) 議会運営委員長より、7月議会に上程する方針が示される。

政務活動費はこのように使われました。

政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、議員1人当たり月額5,000円を会派に交付しています。

平成30年度政務活動費支出状況

[単位:円]

会派名	議員名	支出総額	収入内訳		返還額
			町からの交付額	会派負担額	
スクラム・おおがわら	山崎 剛 佐藤 貴久 庄司 充 大沼 忠弘 高橋 豊	318,087	300,000	18,087	0
新政会	堀江 一男 枅 和也 須藤 慎	192,298	180,000	12,298	0
政道会	丸山 勝利 佐久間克明	152,105	120,000	32,105	0
巖会	岡崎 隆 秋山 昇	128,200	120,000	8,200	0
日本共産党	万波 孝子	60,132	60,000	132	0
公明会	高橋 芳男	62,475	60,000	2,475	0
フロンティアおおがわら	伊勢 敏	378,902	60,000	318,902	0
合 計		1,292,199	900,000	392,199	0

《政務活動費支出の内訳》 調査研究費(視察研修費用)/広報広聴費(新聞等の発行費用)

《調査視察研修の主な内容》

スクラム・おおがわら/政道会/公明会 ➡ 青森県八戸市「官営書店の運営について」
青森県田子町「にんにくのブランド化と6次産業化について」
青森県田舎館村「田んぼアートによる地域振興について」
新政会/巖会 ➡ 愛知県名古屋大学「最先端の減災研究について」
愛知県新城市「若者議会の取り組みについて」
愛知県岡崎市「農産物ブランド化について」「JAと連携した婚活応援の取り組みについて」
愛知県大府市「認知症保険制度への取り組みについて」
フロンティアおおがわら ➡ 滋賀県湖南市「湖南市地域自然エネルギー基本条例の概要」
長野県飯田市「市民参加型エネルギー事業の概要」
長野県長野市「1対1自然エネルギープロジェクトの概要」

こんな町に住みたいな



金ヶ瀬小学校
大浦 夏希さん

僕は、少子高齢化や過疎化が防止され、活気のある町に住みたいです。人口が多ければ、町にお店などが増えます。そうすれば、町の経済効果が上がって、街灯や道の整備ができるようになります。その結果、住みやすい町になり、人口が増えるというような形で、町はどんどん栄えていきます。



金ヶ瀬小学校
柴崎 智捺さん

私が住みたい町は、特産物がある町です。宮城県は特産物が多いので、観光客が少ないので、私達の町で20センチメートルの超特大きのこを作り、それを全国に広めれば、観光客もたくさん来て、有名になると思います。さらに、イベントとして、きのこ狩りなどをして、きのこ狩りなどをして、もっと観光客が多くなり、全国の色んな人達に喜んでもらえると思います。

これらのことから、私は特産物を作り、全国の人達に親しまれる町に住みたいです。

頑張っている
子どもたち

祝

ダンス世界大会出場へ

毎年夏にロサンゼルスで開催される世界最大のダンスコンテスト（ワールド・オブ・ダンス）に日本代表の一員として出場する星 天愛来（ほしていあら）さん。大河原中2年。

厳しい練習に耐え、見事予選会（国内大会）を勝ち抜き、世界大会の切符を手に入れました。日本代表として精一杯アメリカで踊ってください。



9月議会のお知らせ

招集日9月5日(木)・再開日9月11日(水)

お問い合わせは議会事務局まで

☎53-2800

議会を傍聴しませんか

今回の
表紙は



4月に開園した
保育園モンテッソ
ーリこどもの家
こぼこ。お庭遊び
では、みんなでな
かよく、竹とんぼ
を飛ばしたり、園
庭の山に登ったり
していました。迎
りいっぱいの子ど
もたちの元気な笑
い声があふれ、と
ても楽しそうでした。

(大沼忠弘)

編集後記

つい先日、令和最初の国政選挙「第25回参議院選挙」が行われました。特に、期日前投票や若者の政治参画を訴える声が残っています。選挙や町に関心を持つのが当たり前ではなく、そこに至るプロセスが大切で、改めて顧みる時期に来ていると感じました。議会だより作成を通して、見ることや聴くことの大切さを毎回学んでいます。今後もより多くの町民の皆様にご活用していただける紙面づくりに励みます。

(佐久間克明)

編集発行責任者

議長 佐藤 貴久

議会広報常任委員

委員長 佐久間克明

副委員長 須藤 慎

委員 万波 孝子

委員 大沼 忠弘

委員 伊勢 敏

委員 高橋 豊